



## 第22回地域療育講習会

医療福祉相談室 鈴木 裕子

3月2日（木）多摩総合医療センターのフォレストにて第22回地域療育講習会を開催しました。今回のテーマは「重症心身障害児者とのコミュニケーション～意思疎通困難な利用者へのアプローチ～」です。講習会当日は計113名の参加があり、利用者の思いを知ろうとすることの難しさを感じているのか、受講者の関心の高さが伺えました。職種も看護師・理学療法士・学校介護職員・歯科衛生士・栄養士他、多岐にわたりました。森永言語聴覚士の講義「隣にいても良いですか？から始まるコミュニケーション」、濱田作業療法士の講義「心と体の動きをコミュニケーションの手がかりに」では、活動場面の動画を用いて「待つ」ことの大切さや、意思表示の読み取りの具体的な紹介がありました。

齋藤小児科医師と荒谷緩和ケア認定看護師の講義「言葉で伝えられない方の訴えをどのように受け取っていますか？」は、主に痛みや苦痛に焦点をあてた内容でした。講師の二人は当センター緩和ケアチームのメンバーです。痛みの観察や評価における職員間のばらつきをなくすためのスケールの紹介もありました。恒例の質疑応答では、40分では足りない程多くの質問が寄せられました。講習会では全て紹介できませんでしたが、寄せられた質問からは、日頃、利用者の方と真摯に向き合っている参加者ならではの具体的な質問も多く、講習会終了後も、講師に直接質問をしている熱心な姿が見られました。

最後に参加者の皆様からいただいた感想の一部を紹介させていただきます。「施設で働き重症心身障害児者と関わる中で、相手の反応が本当に自分の考えであっているのかと悩むことがあります。仮説と検証の話はとても参考になりました。」「意思疎通が困難だからといって、コミュニケーションがとれない訳ではないとあらためて思いました。関わり手のアプローチの仕方、受けとめ方で変わると思います。」

次回の講習会は来年度となりますが、多くのご参加をお待ちしています。



## 修了式 ～くぬぎ分教室～

くぬぎ分教室担任 大平 朋未

3月24日（金）に都立府中けやきの森学園くぬぎ分教室の修了式が行われました。平成28年度の学習活動が修了し、この1年間の学習の成果を振り返りました。今年度は小学部の児童を2名迎え、高等部の生徒1名と計3名でスタートしました。はじめ、小学部の児童は各病棟で、高等部の生徒はくぬぎ分教室に登校しての授業でしたが、1学期を終えてからは、合同学習も行えるようになりました。4階病棟に集合し、3人で勉強に取り組むことで、友達に関心が向き、友達と一緒に体験できる楽しさも感じられるようになりました。また、3人それぞれの良さや持ち味が出て、それを認め合える良い関係ができてきたように思います。来年度も高等部の生徒を中心に、それぞれの役割を担い、集団ならではの取り組みを行っていきたいと思っています。

1年間の授業の中でも一人一人が積み重ねを感じられる3学期でした。小学部の児童は、学習のリズムができて学習に落ち着いて取り組むことができました。いろいろな素材や題材に触れることで興味や関心の幅が広がり、教員に感じた思いを視線や表情などで伝えられるようになってきました。これからも様々な体験を通して、コミュニケーションの力を高めていきたいです。

また、高等部の生徒は、今までの体験から教員や病棟の方々とのやりとりの中で表情が豊かになり声を出す場面が増えてきました。いろいろな思いを伝え、共感し合いたいという気持ちが育ってきたのだと感じています。好きな教材をよく見て、触れたり操作したりする力もついてきました。来年は高等部3年生で学校生活最後です。くぬぎ分教室の友達だけでなく、本校の同級生達ともつながり、豊かで充実した日々を送れるようにしたいと考えています。

最後に、今年度の取り組みで感じたことは、府中療育センターの多職種の方々とのつながりの大切さです。専門的なそれぞれの立場から見える児童・生徒の姿と教育の立場で見える姿を共有し合い連携していき、児童・生徒のより豊かな生活につなげていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。



## 2階合同ひな祭り会

保育士 志村 友里

3月1日、2階合同行事はひな祭り会で、フルート演奏の鑑賞をしました。利用者が並び始めると、行事前のドキドキ・わくわくした雰囲気笑顔が見られました。演奏前の音出しでは、会場が静かになり、始まりを感じ取ったようでした。「うれしいひなまつり」から始まり、ジブリアニメの曲や、「荒城の月」「ふるさと」などの唱歌と続きました。曲が終わって拍手が起るたびに歓声を上げ、途中、涙を浮かべている利用者の姿もありました。テンポの良い曲には自然に手拍子が起こり、「川の流れるように」や「花」では静かに耳を傾け、フルートの美しい音色に聞き入っていました。ご家族や他病棟からの参加もあり、素敵なひな祭り会になりました。





## おもちゃと遊ぼう会

指導科 心理 橋本 則子

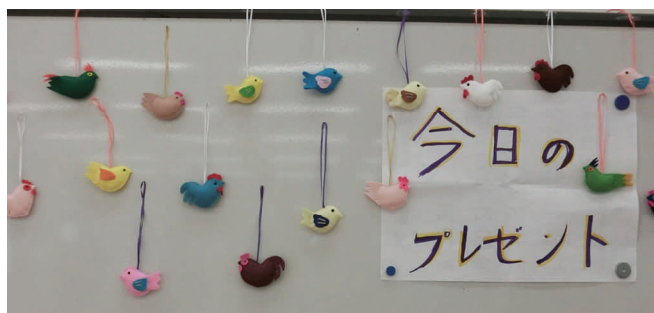


3月8日（水）、あじさい館で指導科行事「おもちゃと遊ぼう会」が行われました。毎年、「府中おもちゃとあそぶ会」と「府中手作りおもちゃの会」の皆様が、たくさんのおもちゃと笑顔と共にいらしてください、この時期のお楽しみのイベントです。

あじさい館入り口では、大きな女の子のお人形がお出迎え。中に入ると、懐かしいおもちゃ、手作りの的あてや魚釣りのゲームなど、色々あって目移りしてしまいました。おもちゃの面白い動きにくぎづけの人、フェルトでできた美味しそうなお弁当や果物に、思わず口が開いてしまう人、またおもちゃが奏でる様々な音や手触りを楽しむ人など、それぞれ気になるおもちゃを見つけて、ボランティアや職員と共に楽しみました。

最後は、ボランティアの皆さんから手作りのマスコットをお土産にいただきました。今年の干支にちなんだ、ニワトリ、ヒヨコのマスコットで、様々な色の組み合わせや、手作りならではのひとつずつ違う表情から、自分のお気に入りを選び、満足そうでした。

ボランティアの皆様、今年も本当にありがとうございました。



## 平成28年度 退職者を送る会

事務室 田中 稔浩

3月10日（金）パレスホテル立川において、退職者を送る会が開催されました。退職者6名を含め、各科・病棟から全体で140名を超える職員の参加がありました。

会では、多くの科から歌やダンスなどの企画が出され、会場は笑いあり感動ありで、大変盛り上がりました。

今年度退職を迎えられる皆さま、長い間東京都に多大なる貢献をいただき本当にありがとうございました。今後ますます活躍されることを祈念いたします。そして引き続き当センターを応援してください。



## 東京都重症心身障害プロフェッショナルナース育成研修 第四期看護研究発表会・修了式

2月23日（木）プラザハイジアにおいて、東京都重症心身障害プロフェッショナルナース育成研修第四期生の看護研究発表会及び修了式が行われました。

本研修は、平成21年度に開始した東京都独自の研修です。この研修は、専門的な知識・技術を論理的に探究し、質の高い看護実践活動と指導的役割を果たす人材を育成することを目的としています。

第四期の修了生は、平成27年度から2年間にわたる研修を修了した25名です。当センターからは4名の看護師が研修を修了しました。その4名の修了生の声を紹介します。

### 1-B病棟 小野 昌子



2年間の重症心身障害プロフェッショナルナース育成研修では、各分野における重症児者の特徴を踏まえた医療・看護・リハビリテーションや在宅支援・社会資源など多岐にわたり、重症児者を支援していく上で必要となる専門的な知識や技術について学びを深めることができました。今後は、利用者への看護実践を通して本研修の学びを深めていくと同時に他職種と協働し、利用者一人一人の個性やニーズに対応した看護・療育の提供に努めていきたいと思っています。

### 3-1病棟 佐藤 卓徳

2年間のプロフェッショナルナース育成研修を通して、様々な学びがありました。研修では、重症心身障害児（者）について、より専門的に掘り下げて一つ一つ学ぶことが出来ました。また、訪問看護実習や通所実習では、普段在宅で過ごされている方々の日常生活や看護について垣間見ることができ、色々と考えさせられる実習となりました。また、他施設の研修生との交流もとても刺激になりました。今後、研修を通して得た様々な学びや感じた事・考えた事などを療育の分野で活かしていきたいです。



### 3-2病棟 岩尾 佳子

2年間で重症心身障害児者の病態・特性等について講義・実習や演習を通して、様々な視点から学ぶ事ができました。また、自分自身把握できていない知識・技術について再確認できました。今回学んだ知識を元に重症心身障害児者一人一人に適した看護とは何か、他職種と連携を図り、より良い療育を提供できるよう看護計画等見直していきたいと思っています。

### 5-B病棟 武田 紀子

二年間の研修では、講義だけでなく他施設や在宅での実習もあり、医師、看護師、PT、STだけでなく重症心身障害児者やご家族からも、医療、看護、社会整備など、療育について多角的に学びました。高齢化や超重症児化と、重心看護をとりまく現状には様々な問題と多くのニーズがあります。研修での学習を活かし、多くの職種とチームで協働しながら、より良い療育が提供できるよう、学びを深め、実践していきたいです。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042 (323) 5115

Fax 042 (322) 6207

\*-\*-\*ホームページもご覧下さい\*-\*-\*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>